

下 北 駅 前 整 備 促 進
特 別 委 員 会 会 議 録

(平 成 1 9 年 8 月 1 日)

む つ 市 議 会

下北駅前整備促進特別委員会

○開会の日時 平成19年8月1日 午後 1時00分開会・開議
午後 1時44分閉会

○場 所 本庁舎旧議場

○付託事件 第186回定例会（平成17年12月21日）付託事件
（1） 下北駅前整備に関わる諸問題について

○出席委員（12人）

委員長	川下八十美	副委員長	佐々木 肇
委員	白井二郎	委員	新谷 功
〃	濱田栄子	〃	柴田 峯生
〃	富岡幸夫	〃	久保田 昌司
〃	東谷良久	〃	菊池 広志
〃	杉本清記	〃	本間 千佳子

○欠席委員（3人）

委員	松野裕而	委員	目時睦男
〃	田高利美		

○説明のため出席した者

市	長	宮下 順一郎
副市	長	田頭 肇
収入	役	田中 實
企画部	長	阿部 昇
企画部	理事	近原 芳栄
建設部	長	成田 豊
建設部	理事	石田 三男
建設部	次長	村田 幸雄
企画部	副理事企画課長	奥島 慎一
建設部	都市計画課長	山本 伸一
建設部	都市計画課長補佐	杉山 重行

○事務局出席者

事務局長 小 島 昭 夫
総括主幹 柳 田 諭
議事係主任 葛 西 信 弘

次 長 高 田 文 明
調 査 係 石 田 隆 司
主 議 事 係 井 戸 向 秀 明

(午後 1時00分 開会・開議)

○委員長(川下八十美) ただいまから下北駅前整備促進特別委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は12人で定足数に達しております。

会議に入る前に申し上げます。本特別委員会の委員であります、さきの6月定例会において本間千佳子議員並びに富岡幸夫議員が新たに委員として選任され、本日の会議から出席をしておりますので、ご報告を申し上げます。

これから本日の会議を開きます。

本日の特別委員会は、下北駅前整備に関わる諸問題についてを議題として審査を行います。

まず、本日の会議の進め方ではありますが、これまでと同じように、前回の特別委員会開催以降の経過と現況について、企画部と建設部からそれぞれ報告を求め、その報告に対し、委員から質疑を受けたいと思っております。その後その他に入り、委員の皆様から何かご意見等があればお伺いしたいと思っておりますが、このような進め方でよろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(川下八十美) ご異議がないようでありますので、本日の会議はかように進めさせていただきます。

それでは、企画部と建設部から、前回の委員会開催以降の経過と現況について報告をお願いしたいと思います。まず、企画部長。

○企画部長(阿部 昇) それでは、その後の経過と現況につきまして、企画部からということではありますが、企画部サイドといたしましては、前回の5月の報告で触れました駅舎の実施設計に入るための協定書についてであります。当該協定書は、平成19年6月18日付をもって締結されたところであります。この中で設計の工程、設計の施行主体、また設計の費用等について定めております。

設計の工程につきましては、平成20年1月末日まで、設計の施行主体は、これまでの基本協定書等ににじませていることを受けまして、JR側で対応し、費用につきましては総額1,182万3,000円となっているところでございます。

以上、概略ではありますが、ご報告とさせていただきます。

○委員長(川下八十美) 建設部長。

○建設部長(成田 豊) それでは、引き続きまして、5月14日に開催されました前回の委員会以降の経過と現況についてご説明申し上げます。

初めに、用地取得についてでございますけれども、民間1社の所有地を取

得しておりますが、5月29日に土地売買契約を締結いたしまして、所有権移転を確認した後、7月6日に用地費並びに物件移転補償費の支払いを済ませております。

場所は、現駅舎の南側で、日本通運の車両の出入り口部分でございます。

取得しました用地の面積は、100.34平方メートルでございます。取得単価は前年度民間2社から購入いたしました単価と同額で、1平方メートル当たり3万700円であります。

前年度本事業のために取得した用地面積は2社分で1,793.64平方メートルでありますので、今年度取得した分を合わせますと、用地取得面積は1,893.98平方メートルとなります。参考までに申し上げますけれども、今年度はこの後JRの用地取得を予定しております。これが終わりますと、本事業にかかわるすべての用地取得が完了することとなります。

なお、これまでもご説明しておりますとおり、JR用地につきましては、新駅舎の設計が決まり、駅舎用地が確定した後、その駅舎用地を除いた用地を取得することになります。スケジュール的には、今年度後半には取得できるものと考えております。

次に、工事の実施状況についてご説明いたします。現在実施中の工事ではありますが、初めに下北駅前広場側溝整備工事であります。これは、下北駅前広場整備用地沿いに施行しておりますもので、延長約144メートルに県道の高さに合わせた側溝を入れる工事でございます。工期は、6月19日から10月5日までで、契約金額は862万500円で、株式会社丹内土木が請け負っております。

次に、下北駅前広場フェンス整備工事ではありますが、今年度整備いたします駐車場部分と駅のプラットフォームとの間に鉄道施設の安全管理のために防護さくを設ける工事ではありますが、施工は延長約34メートルでありまして、この工期は6月9日から8月31日までとなっております。契約金額は173万2,500円で、株式会社熊谷建設工業が請け負っております。

次に、下北駅前広場整備工事ではありますが、委員皆様ご承知のとおり、駅の南側に駐車場を整備する工事でございます。工期は7月25日から来年の1月31日までとなっております。契約金額は3,759万円で、株式会社熊谷建設工業が請け負っております。

なお、県では今年度と来年度の2カ年で県道の右折ライン設置のための工事を行っているところでございます。

また、この駅前広場整備工事のため、下北交通やJRバス等が7月から駅構内を利用できなくなっておりますが、利用客に対しましては看板等で移動先を周知し誘導いたしております。

なお、7月の恐山大祭の期間、20日から24日までの5日間につきましては、バスの発着が駅構内でできるように配慮したところでございます。

さらに、タクシーへの対応でございますが、工事の安全管理上、今年度は駅に向かって右側にタクシーが待機できるスペースを設けることとしております。そちらで待機していただくように、これまでむつ市旅客自動車事業協同組合の方をお願いをしたところでございます。

建設部からは、以上でございます。

○委員長（川下八十美） 今企画部長並びに建設部長から経過と現況についてご説明をいただいたわけでありますが、これに対しまして、委員からの質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。新谷委員。

○委員（新谷 功） ただいまは、企画部長と建設部長から経過と現況の報告を受けたわけでございますが、その中で今の企画部長の経過説明の中で、駅舎の設計が平成20年1月末日までに設計ができると、その費用は1,182万3,000円であるというような説明があったわけでございます。

ところで、企画部長、この設計はJR東日本の方ですということまで理解してよろしいのでしょうか。

それから、建設部長の説明ですけれども、今残された民有地を取得したと、こういう報告受けました。大変よかったかと、このように思っていました。本当に安堵していました。いろいろご苦労様でありました。

ところで、JRの用地取得ですけれども、説明によれば駅舎用地を除いてと、こういう説明がありました。駅舎を建設する場所はそもそもJRの土地なののでしょうか。この辺の説明、もう一度お願いしたいと思います。

いずれにしても、今の一連の工事、側溝工事、あるいはフェンス、先ほど熊谷建設工業の3,759万円の工事というのは、いわゆる今年度予定しておった南側の駐車場の部分と、このように理解してよろしいかと思うのですけれども、そうすればことは当初計画の工事発注はこれで終わりというふうに考えてもいいものかどうか、その辺も含めて説明してください。

○委員長（川下八十美） 企画部長。

○企画部長（阿部 昇） ただいまの新谷委員お尋ねの第1点目にお答えを申し上げます。

駅舎の設計主体でございますが、先ほどの説明のとおり、これまでの基本協定書の中でそういう条件づけをしてございますので、JRが行うと、このようになってございます。

以上でございます。

○委員長（川下八十美） 建設部長。

○建設部長（成田 豊） お答えいたします。

現在駅舎が建っているところは、お話しのように、JRが所有している土地でございます。新たに今後新しい駅舎を予定しているところは、プラットホームに近づけるといふようなこともあります。その関係で一部市有地がございます。そういうふうなことで、駅舎の平面図等設計がまとまれば、それに合わせまして市有地と、それからJR用地と交換する部分とか、それ以外は購入するという格好になります。

それから、今年度の予定している工事は、この発注したものですべてでございます。

以上でございます。

○委員長（川下八十美） 新谷委員。

○委員（新谷 功） まず1点目の企画部長の答弁、これはJRが設計するというのでよくわかりました。

ところで企画部長、前の委員会において駅舎に、これ委員から要望があったと記憶しているのですけれども、観光案内所的なものがないものかなと、こういう意見が出されたとは私は記憶しております。今の設計の段階でこのような要望が企画の方からJRの方に申し入れをしているものか、その辺はいかがなものでしょうか。

それから、この駅舎の建設面積といえますか、その辺が決まっているのであればお知らせ願いたいと思います。

それから、今の建設部長の答弁、これよくわかりました。ことしの発注はすべてだと。どうか来年は駅舎、平成21年度はいわゆる北側ということで、手を抜くことなく頑張ってくださいと、このように思います。

○委員長（川下八十美） 企画部長。

○企画部長（阿部 昇） お尋ねの中のまず1点目の観光案内所というお話でございますが、私が認識している段階では、具体的な申し入れの行動を起こしたということは聞き及んでおりません。先ほどの詳細設計に入るための協定書の中では、その具体的な設計に入るための条件づけといったものは特に決めておりません。あくまでも甲乙が定めのない事項について協議をして対応していくという概括的な条項のみでございますので、今後その条項をフルに活用して私どもの希望を、意見を添えていくと、こういうことで考えてございます。

それから、面積につきましては、これから詳細設計に入るわけですが、あくまでもJRで、平成13年10月あたりに駅舎の基本計画の調査報告

書という形で基本計画書のいわばベースとなるものが既に報告されてございます。それが基本となってこれからJRで設計していくということになるのですが、その段階での面積の考え方を今お知らせしますと146平米と、平成13年度の調査報告書の段階ではそのような考え方が示されてございます。ただし、これは現況、これから今後に照らしてどのように変化するかということもあろうと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

以上でございます。

○委員長（川下八十美） 新谷委員。

○委員（新谷 功） ただいまの企画部長の説明わかりました。基本設計に入るときに、そういう基本協定に基づいて進めていくというような意味の説明なのですけれども、しからば企画部長、その協議に入るときに当たって、例えば観光案内所みたいなものを企画部としては要望していくお考えがあるかどうか、お聞きしておきたいと思います。

○委員長（川下八十美） 企画部長。

○企画部長（阿部 昇） やはり特別委員会ということでございますし、もとより下北駅前周辺整備促進協議会という広い、また深い議論もいろいろこれからはなければならぬかと思いますが、その辺の考え方を収れんする中で、私どもの希望としてはそれを取り込んでJR側にも申し述べていきたいなど考えとしてはございます。ただ、これまでの当特別委員会におきましても、たしかJR側のお考えとして、いろんな施設の整備を手厚くしていくことは可能であります、それに相応した経費の問題等々がいろいろ伴ってまいりましょうと今までも示されているところは皆様ご承知のことかと思っておりますので、その辺も念頭に置いて対処してまいりたいと、このように考えてございます。

以上でございます。

○委員長（川下八十美） 引き続き質疑はお受けいたしますが、ただいま宮下市長が当特別委員会に政務ご多端の中ご出席いただきました。委員長としては、ここであえてごあいさつを許可したいと思います、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（川下八十美） では、宮下市長、ごあいさつ、こちらで結構でございますから。どうぞ。

○市長（宮下順一郎） 委員長のお許しをいただきまして、特別委員会に出席をさせていただきます。公務がございましておくれましたことを、まずもっておわびを申し上げたいと、このように思います。

下北駅前整備促進特別委員会、これは私議長在職中に設置されたものであ

りますし、またこの整備にかかわりましては、12年前議員に初当選以来、さまざまな場面で一般質問また質疑等をさせていただいた非常に思いのあるこの事業でございます。市長の形でこの特別委員会に出席をさせていただき、各委員方の質疑をお聞きする場面というふうなことは非常に感慨深いものがございます。ただ、この特別委員会、9月定例会を前にしての最後の特別委員会と伺っておりますので、最終的な形の中で委員長報告がなされるというふうな形になるかと思えますけれども、よろしく慎重ご審議のうえ、委員長報告を議会の方に届けていただき、そしてそれを参酌いたしまして、行政としても動いていきたいと、このように思います。

質疑の途中出席ということで、非常にご迷惑をおかけいたしましたことをおわびを申し上げつつごあいさつとさせていただきます。委員長の配慮に心から御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

○委員長（川下八十美） どうもありがとうございました。

それでは、市長には時間の許す限り、ひとつ審査の経緯をつぶさに見ていただければありがたいと思っております。

引き続き委員からの質疑を受けたいと思います。柴田委員。

○委員（柴田峯生） 第1点は、新谷委員の質疑に関連あるわけですが、駅舎の設計はもちろん基本協定でJRが行うということなわけですが、新幹線の駅舎でも、例えば七戸でも青森の場合でも、あるいはまたよその場合でも、JR側が設計した段階で最終決定の前に素案を示して、その地域の例えばむつ市ならむつ市のご意見を伺うというケースが今まで随分あるわけです。そういったものが今後行われる可能性があるのかどうか、第1点です。

それから第2点は、現在の駅舎の位置に建て替えすることが主力になっているわけですが、その場合の今後の駅の状況、乗降客の安全をどのように確保していく予定なのか、そういったものが今後話し合われるのか、それとも今から申し入れをしていくのかどうか、その辺がわかればお答えいただきたいと思います。

○委員長（川下八十美） 企画部長。

○企画部長（阿部 昇） お尋ねの1点目でございますが、設計が終わった段階あたりで私どもの意見をそれに反映できるのかということでございます。私冒頭、報告の中でちょっと舌足らずな言い方をしましたが、協定書の中身につきましては、設計に当たっての具体的な条件づけはなされておきませんので、あくまでも設計に入る途中も含めまして甲乙が適宜協議をして、その辺余地があるものと、このように考えてございます。したがって、設計が終わるという時点まで待たずして、できるならば設計が終了するスパン以

内の中でそういったことを、私どもの方から機会あるごとに申し入れをして積み上げてまいりたいなど、このように考えてございます。

それから、2点目の方は、乗降客の安全ということでございますが、これにつきましては、建設部の方からお答え申し上げます。

以上でございます。

○委員長（川下八十美） 都市計画課長。

○建設部都市計画課長（山本伸一） ただいまの乗降客の安全に関するお尋ねでございますけれども、JRサイドと協議する場で、常々その件につきましてはいろいろ協議してまいりました。したがって、ただいま今年度、平成19年度駐車場をやるということもその一環でございます。現在ある駅舎を使ってまずお客様を乗せてあげると。そうしますと、駐車場ができていた状況であれば、そちらの方に乗降客を回していけるということで、駐車場を先行してやるという考えでございます。ただし、その詳細につきましては、まだまだこれから詰めるところが多々ございます。どのようなルートで仮設的な駅舎をどう設けるかという部分もございませぬものですから、その辺はさらにこれから詰めていきたいと思っております。ご理解いただきたいと存じます。

○委員長（川下八十美） ほかに質疑ございませぬか。

（「なし」の声あり）

○委員長（川下八十美） ないようでありますので、質疑はここで終わらせていただきます。

次に、その他についてであります。下北駅前整備促進に関する事で何か皆さんお気づきの点やお聞きしたい点がありましたら発言をお願いしたいと思います。

何かございませぬか。新谷委員。

○委員（新谷 功） この下北駅前整備促進特別委員会は、平成17年12月に組織会を立ち上げたわけございまして、本日まで8回の委員会を設けたわけでございます。そもそもこの事業は、今宮下新市長もおっしゃったとおり、これ平成6年からですよね、実は蓮井会長、波岡副会長初め多くのスタッフの方、今の宮下市長を初め本当にいろんな運動を展開してきて、途中、半ば、平成8年あたりには少しとんざしかかったこともあったのですけれども、それが今のようなになったということは、本当に大変喜ばしいことで、当初は平成19年から平成20年で完成すると、その総予算は6億円をもって完成するということであったのです。財源等の問題で1年伸びたのですけれども、それにしても我々特別委員会も委員長の指導のもとにこうやって8回を迎えて下北駅前の整備促進も軌道に乗せたということになるかと思うのです。

それにしても、我々委員の役目も、今宮下市長がおっしゃったとおり、きょうで最後になるかと思うのです。そこで私は、これは改選後はどうなるかわかりませんが、あとは来年あるいは再来年度、いわゆる北側を含めてまだ残っているわけです。ぜひともこの計画は完成させたいという思いがあるわけなのですけれども、私もこの秋の選挙で議席を得られるかどうかわかりません。これは委員長及び市長も来ていますから、是が非でも改選後も下北駅前完成を目指して特別委員会の設置、これは新しい議員で決めることなのでしょうけれども、設置されることを要望して終わりたいと思います。ありがとうございました。

○委員長（川下八十美） どうぞひとつ再選されて、新しい議会で今のご意見をお出しいただくようお願いをいたす次第であります。

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（川下八十美） ないようでありますから、この機会に大変僭越ではありますが、きょうが最後となるかと思っておりますので、お許しをいただいて、委員長から、この席から二つほど申し上げておきたいと思っております。

その一つは、ご承知のとおり、私たちが8回の特別委員会を開きまして、平成19年度、平成20年度、平成21年度の3カ年計画で当下北駅前広場整備計画の平面図も示されて、その計画がまず順調に進まれることを私は心から希望をいたしておるものであります。さらには、改選される新しい議会で、その実現を見届けることがまた当特別委員会の存在意義でもあるような気がしてなりません。

そこで私は、そのためにもよいものをつくっていくという基本的な考え方から、委員長として、その実現を見ることが当然の責務であると認識いたしておりますので、その一つ目は、本年度完成予定の一般駐車場、これに冬期間の融雪システム、いわゆる除雪対策、こういったものをどう考えて対処されておられるのか。私は融雪システムをきちっとやっぱり取り入れるべきが、冬を迎える下北半島でありますから、これは一番考えなければならないところであろうかと思っておるわけではありますが、この点ひとつどうお考えなのか、まずお伺いをいたしたいと思っております。

第2点目は、今も議論になったように、何といたっても駅舎の建設なのです。これは、今企画部長からも建設部長からもるる説明がありました。市当局とJRは紳士協定を結ばれておるということでありますけれども、お金を出すのはすべてむつ市、要望はするものの設計、あるいは発注等までも、これはJRになるのではないかなと私は一つの懸念を持っておるわけでありま

す。そういったことを考えると、今もろもろの要望等がありましたけれども、これもまた私は雨の日なんかを考えて、駅舎のアーケード、特に観光客が乗降するときにタクシー、バス、ここまでもやっぱりアーケード式のものを考えて観光客の利便性を考えるべきではないかと。あるいは、バリアフリーの設計がなされるものなのかどうか。こういったことも、たとえ紳士協定といえども、やっぱり市の方で積極的に計画の中にも、お金だけではなく口も出すべきだと私は考えておるわけでありますけれども、この点もひとつお願いをいたしたいと思っておるわけでありますが、あえて委員長からこの二つを再確認の意味でお願いをしたいと思えます。建設部長。

- 建設部長（成田 豊） ただいま委員長からお話のありましたまず1点目の駐車場の融雪システムでございますが、これまで我々も前の市長も含めて、それらのことについて検討いたしました。ところが、費用的にかなりの額になるものですから、その件につきましてはあきらめざるを得ないというふうなことで、これまでの何回かの当特別委員会でもご説明しましたように、平成21年度に整備いたします北側のロータリー部分等の奥にあります花壇畑でございますが、そこを冬期間の排雪の場所、あるいは雪を積んでおく場所として確保しているところでございます。

それから、アーケード、バリアフリーのお話も出ましたが、これまでの図面でお示ししてありますように、先ほども触れましたが、平成21年度に施工しますバスプール、バスの乗降場等のところに一部シェルターを設けてあるのが表示されているはずでございます。それももっと延長を考えたわけでございますけれども全体的な予算の中でやるというふうなことで、すべてにシェルターを設けることはできませんでした。ただ、今後駅舎の関係に関連させまして、予算が許す範囲内であれば、企画部門あるいは市長と相談させていただきまして、そのことも予算の範囲内であればということで協議をさせていただきたいと思っております。

それから、最後バリアフリーの件でございますけれども、当然その辺は十分に配慮した施設として検討しておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

- 委員長（川下八十美） ありがとうございます。

決してやりとりする気持ちは毛頭ございませんが、私はこの3カ年計画が滞りなく実現することを希望するわけであります。建設部長、一つだけ、例えばむつ総合病院の駐車場を見ても、料金徴収機があるわけなのです。ああいう料金徴収機をつけることによって財源の確保ができるわけです。それだけではなく、恐らくこれから今のような状況が続けば、大変市民には悪いけ

れども、無断駐車もあろうかと思えます。下北駅周辺がどんどん発展してきますと、駅前広場の駐車場を駅利用者のみならず利用される可能性がある。そういうことからしても、やっぱり料金の徴収機をつけることが私は今のむつ総合病院の例を考慮しても、考えてみても、そういう方法もあるのではないかなと、こう思っておりますが、これはあくまでも希望でありますから、今後検討材料にさせていただきたいと思えます。

最後にもう一つ。バリアフリーはもちろんでありますが、最近はやメニティーゾーンといって、快適空間を駅につくらなければいけないという状況になっておりますので、こういうこともひとつ十分にJRと意見を交換し合っ、この部分も、そして下北の名産物を販売できるような、そういう方向も考えていかれるようお願いをいたしたいと思えます。

あえて部長から何かあれば受けたいと思えます。建設部長。

○建設部長（成田 豊） ただいま駐車場の料金のことについてお話がありましたが、これも私もこの事業を進めるに当たりまして検討してまいりましたが、ただ、むつ総合病院等の例を見ても、たまたまトラブルが発生することがございます。むつ総合病院の場合、トラブルがあっても近くにおける警備員が来て対応していただきますけれども、駅前の駐車場につきましては、早朝から深夜まで、担当の警備員がつかなければならない、そしてそういうトラブルがあって列車におくれるようなことがあれば、大変なことになるというふうなことで、それらも検討したうえで現在の形にしたところでございますので、ご理解を賜りたいと思えます。

○委員長（川下八十美） いろいろな角度から検討されて、今の3カ年計画が生まれておるということで理解をしておさめたいと思えますが、いずれにいたしましても、将来駅舎のみならず、大湊線そのものが存続をされるように、さらなる私たちの努力も皆さんと一緒にしてまいりたいと思っております。

ほかにその他についてご意見ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（川下八十美） ないようでありますので、その他についてはこれで終わらせていただきます。

次は、中間報告の取りまとめであります。本特別委員会の9月定例会での中間報告の作成につきましては、正副委員長に一任を願いたいと思えますが、いかがでございましょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（川下八十美） ご異議がないようでありますので、そのように決定をさせていただきます。

なお、先ほど来から申し上げておりますように、本特別委員会が平成17年12月定例会において設置されて以来今日まで8回に及び審査を重ねてまいりました。我々の任期も10月15日までということでございまして、きょうが任期中最後の特別委員会になろうかと思っております。

委員の皆様方には、特別委員会設置後、いろんな面におきまして、会議の運営等に多大なるご協力をいただきましたことを副委員長ともども心から厚く御礼を申し上げさせていただき次第であります。

それでは、お諮りをいたします。本日の特別委員会は、これをもって閉会したいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(川下八十美) ご異議なしと認めます。

以上をもちまして、本日の特別委員会はこれで閉会をいたします。

(午後 1時44分 閉会)

上記のとおり相違ありません。

下北駅前整備促進特別委員会

委員長 川下八十美